

食 種	1 ハ イ フ 4	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	塩分 (g未満)	基本の主食 (全て塩なし)	対象疾患<例>・治療食の概要など	加算
常食A	◇ ◇	1900	75	50	8	飯200g		
常食B	◇ ◇	2040	84	66	9.5	朝)パン大/他同上	朝)洋食 昼夕)常食Aに同じ	
軟菜食A	◇ ◇	1650	70	43	8	全粥330g	揚げ物・硬い野菜は不使用	
軟菜食B	◇ ◇	1890	80	59	9.5	朝)パン大/他同上	朝)洋食 昼夕)軟菜食Aに同じ	
ソフト食	◇ ◇	1650	70	43	8	全粥330g	歯茎で噛める硬さの副菜 例:肉)挽肉やミートボールスライス 魚)一口刻 野菜)葉先を細切 芋類)1~1.5cm角 など	
五分菜食	◇ ◇	1200	55	30	8	五分粥330g		
流動食	◇	700	30	20	4	重湯150g	重湯+2品(少量の麩・豆腐・そうめん、ゼリーの使用あり)	
嚥下食1		150	0	0	0.27	無し	エンゲリード1個(50kcal)/食(学会分類2021コード0j)	※左表は1日量
嚥下食2		230	12	7	1	無し	プリンまたはゼリー状1品(1j)、お茶ゼリー(0j)	
嚥下食3		750	30	17	5	酵素粥110g	プリン、ゼリー状(纖維入り)(1j)、酵素粥(ベタ付きを抑えたミキサー粥(2-1))、お茶ゼリー(0j)	
嚥下食4	◇ ◇	1200	55	30	8	酵素粥220g	ミキサー状とろみ付(2-1)、酵素粥、お茶とろみ(中間)	
嚥下食5							(削除) ※ソフト食 刻トロミ、特別食五分菜 刻トロミ 等をご選択ください	
ミキサー食	◇ ◇	1650	60	37	7	酵素粥330g	副食は嚥下食4に準ずる。主食は酵素粥/全粥トロミ/低タンパク酵素粥/低タンパク全粥トロミの選択可	
高血圧食	◇ ◇	1650	70	33	6	飯150g		
高血圧食五分菜	◇	1200	55	30	6	五分粥330g		
心臓食	◇	1650	70	33	6	飯150g	水分1500g程度 水分以外は高血圧食と同じ	○
糖尿食		1440	60	35	6	飯150g	炭水化物60% 主食量の増減にてエネルギー量を調整	○
腎臓食1	◇	1800	40	42	6	低Pro飯200g		○
腎臓食1軟菜	◇	1800	40	42	6	低Pro全粥330g	K2000mg以下 1・2は同じ副食。主食でたんぱく質量を調整	○
腎臓食2	◇	1800	54	44	6	飯200g		○
腎臓食2軟菜	◇	1800	54	44	6	粉あめ全粥330g	K制限なし(対応可) ※糖尿病性腎症(P0.9g/IBWkg) ⇒飯150g選択(E1550kcal P50g F43g C240g) ※糖尿病性腎症(P0.9g/IBWkg) ⇒粉あめ全粥220g選択(E1550kcal P50g F43g C240g)	○
腎臓食・Pro30g	◇	1600	30	40	6	低Pro飯200g		○
腎臓食P30軟菜	◇	1600	30	40	6	低Pro全粥330g	K1500mg以下	○
透析食	◇	1900	65	55	6	飯200g	水分1000g以下	○
透析食軟菜	◇	1900	65	55	6	粉あめ全粥330g	K2000mg以下 P800mg以下 水分1500g以下	○
透析食五分菜	◇	1370	45	30	6	粉あめ五分粥330g	水分1600g以下	○
透析食流動	◇	900	20	27	4	粉あめ重湯150g	K500mg以下 P200mg以下 水分1000g以下	○
CAPD食	◇	1500	60	50	8	飯150g	K制限なし(対応可) P800mg以下	○
肝臓食1		1500	40	35	6	低Pro飯150g	【対象】BCAA製剤使用中	○
肝臓食2	◇	1700	68	37	6	飯150g	【対象】肝硬変、NAFLD/NASHなど	○

肝臓食3	◇	1650	57	25	6	飯150g	【対象】胆のう炎など	○
無断配付・コピー禁							尾鷲総合病院 約束食事箋(2/2頁)	別紙③-2 2024年8月改(赤字:変更部分)
食 種	1 /4 ハ イ フ	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	塩分 (g未満)	基本の主食 (全て塩なし)	対象疾患<例>・治療食の概要など	加算
脾臓食	◇	1650	57	25	8	飯150g		○
脾臓食五分菜	◇	1000	30	5	8	五分粥330g		○
脾臓食流動	◇	500	10	2	3	重湯150g		○
低残渣食 I	◇ ◇	1650	70	28	8	飯150g	【対象】Ⅱはクローグ病、潰瘍性大腸炎など(特別食加算あり)	△
低残渣食五分菜 I	◇	1200	55	30	8	五分粥330g	食物繊維8g以下(不溶性は0ではないが控える)、刺激物不使用	△
低残渣食流動 I	◇	600	18	10	4	重湯150g	Ⅰ・Ⅱは同じ副食。朝食飲料、栄養補助食品の選択肢が異なる	△
潰瘍食	◇	1650	70	43	8	飯150g		○
潰瘍食五分菜	◇	1200	55	30	8	五分粥330g	刺激物不使用	○
潰瘍食流動	◇	700	30	20	4	重湯150g		
マーゲン食・流動1		300	13	5	2	重湯30cc		
マーゲン食・流動2		600	26	10	3	重湯50cc		
マーゲン食・五分菜		900	40	22	4.5	五分粥110g		○
マーゲン食・軟菜		1100	47	28	6	全粥110g		○
脂質異常症食	◇	1650	70	33	6	飯150g	コレステロール250mg以下	【対象】脂質異常症($LDL-C \geq 140mg/dL$ 又は $HDL-C < 40mg/dL$ 又は $TG \geq 150mg/dL$)
高度肥満症食	◇	1440	60	35	6	飯150g	糖尿食と同じ副食	【対象】高度肥満(肥満度+70%以上又はBMI 35以上)
貧血食	◇	1900	75	45	8	飯200g	Fe15mg	【対象】鉄欠乏(血中Hb濃度10g/dL以下)
痛風食	◇	1650	70	33	6	飯150g	プリン体400mg以下	
産褥食A		2100	70	60	9	飯200g	塩分8~10g Ca650mg Fe9mg エネルギー、塩分制限可	
産褥食B		2240	79	76	10.5	朝)パン大/他同上	朝)洋食 昼夕)産褥食Aに同じ	
すずらん食		700	25	18	3	飯50g	栄養管理部へ要相談	副食を小皿量程度で数品。可能な範囲内で患者の希望に応じる ※左表は1ヶ月平均値 【対象】食欲不振者(緩和・終末期など)
なつめ食		600	17	15	1	無し	栄養管理部へ要相談	果物、飲料、デザート。可能な範囲内で患者の希望に応じる ※左表は1ヶ月平均値 【対象】食欲不振者(緩和・終末期など)
濃厚流動食(経口)						無し	栄養補助食品のみの提供	
濃厚流動食(経管)						無し	経管栄養剤のみの提供	※経口併用の場合は該当の食種に経腸栄養剤を追加してください
食事なし(水分のみ)						重湯150g/無し	重湯のみ 又は お茶のみの提供(両方も可)。副食なし	

※ 注意点 ※

※電子カルテの成分リストで、約束食事箋に記載がない値は参考値です 例:常食のカリウム、水分など

主食 基本の主食から、パン・めん・卵おじやに変更した場合、その分の塩分が増量します

副食
補助食品(付加食)

◇印の食種は「1/4」「ハーフ」対応可

副食1/4・ハーフまたは嚥下食2~4にのみ付加可(3個/日まで)。その他の事例は栄養管理部に要相談